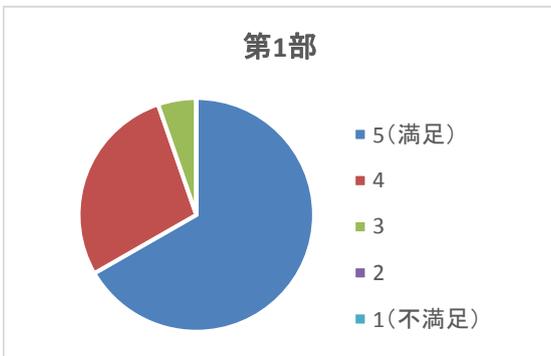


平成27年10月6日(火) 人材育成 中堅・リーダー研修 川内会場 アンケート

Q1 ①満足度を5(満足)～1(不満足)でお答えください。

第1部

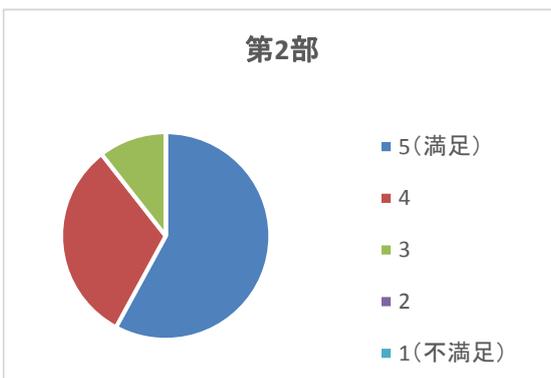
5(満足)	38
4	16
3	3
2	0
1(不満足)	0



- ・パーソンドセンターケア。目の前の人とどう向き合うか
- ・中核症状
- ・何度も学んでいる内容であるが再度確認することが出来た
- ・BPSDの改善を目指す
- ・専門職としてのケア
- ・認知症の症状が原因と思われる気になっている場面。
- ・個人ワーク
- ・認知症の増悪因子
- ・行動・心理症状
- ・今の自分がどれだけ出来ているか
- ・理解はできたが実際同じ職員へ伝えるのが難しい
- ・認知症を引き起こす主な病気で治療可能な疾患もある
- ・深く掘り下げていくこと
- ・分かってはいても文章にすると難しい
- ・自分の逃げを改めて自覚した
- ・介護保険制度と措置の違い
- ・増悪因子をよく知ろう

第2部

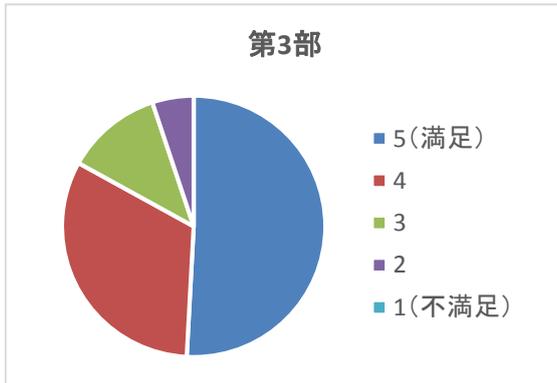
5(満足)	33
4	18
3	6
2	0
1(不満足)	0



- ・支えると守る
- ・2人ペアで傾聴実践
- ・援助的コミュニケーションの原理
- ・傾聴のルールとポイント
- ・ケアの意味と関係性
- ・幸福感を感じる生活
- ・コミュニケーション
- ・傾聴をしてもらえる事での安心感など、実際に行ってみる事で感じられ良かった
- ・コミュニケーションの大切さ、それによって生活が変わる。相手のサインを逃さず対応すれば良い方向に
- ・自分が発したメッセージをありのままに受け止めるという点
- ・心理的ニーズ
- ・中核症状は治らないが身体的要因心理的要因、環境要因を理解しBPSDを軽減していくことは可能
- ・出来る事、出来ない事、したい事、したくない事、全部成り立っている
- ・認知症と言う障害:支える。人としての尊厳・守る
- ・認知症の人が求めていること
- ・パーソンドセンターケア
- ・判断・意欲・選択・自己決定
- ・掘り下げる、事実
- ・本人の言動をどのようにとらえ知識を踏まえて何の目的に関われるか
- ・メッセージの応対
- ・利用者に対するアセスメントの仕方
- ・利用者の気持ちの面を学ぶことができた

第3部

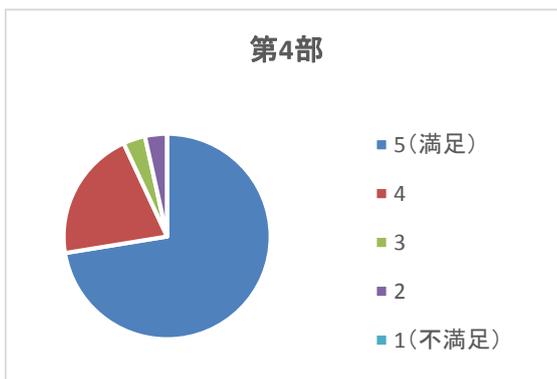
5(満足)	30
4	19
3	7
2	3
1(不満足)	0



- ・リフレーミング
- ・コーチング(質問、傾聴、承認)
- ・考える
- ・利用者、職員共に相手を理解することを学べた
- ・言葉の言い換えは印象に残った
- ・要約の技法
- ・自分で気づく
- ・相手にも考えて頂けるようなスキル
- ・スキルの使い方話し方、接し方について
- ・肯定的な言葉を学べた
- ・効果的に人と関わる
- ・教育と指導
- ・ティーチング
- ・閉ざされた質問と開かれた質問
- ・フレームを変換する
- ・言い方ひとつで人の気持ちが変わる
- ・言葉を発することはとても相手に対し考えなくてはならない
- ・なかなか意味が分からない点もあり難しかった
- ・相手の言葉を引き出す
- ・言葉には気を遣って選んでいたつもりだったが違う手法を学べた
- ・要約とリフレーミング

第4部

5(満足)	42
4	12
3	2
2	2
1(不満足)	0



- ・相手を否定しない、すべてを受け入れる
- ・リーダーの意見に従う
- ・まずは受け入れることをしたい
- ・そのような立場にある自分の物足りなさを知った
- ・マッピング
- ・短所ばかり見ず長所を見つけ伸ばし 人間関係を作ること
- ・他者の考えや思いが聞くことが出来て良かった
- ・自分なりの考えが介護する者同士として学べたこと
- ・まずは気づく、背をむけない、聴く
- ・研修に参加したほとんどの人が同じ悩みをもちながら頑張っていること
- ・自分をいかに上手に相手にみてもらえるか
- ・自分自身を振り返る
- ・人の意見を聞くことかできて良かった
- ・介護現場のジレンマ
- ・確認のスキル
- ・色々な話の引き出し方があると思った
- ・ストレートに伝えるのではなく、本当に相手はどう感じるかを考えて行くことが必要
- ・いろいろな研修に参加して勉強する
- ・言葉かけのむずかしさ
- ・新しい方の手本となる様にしたい
- ・色々な方の話が聞けてよかったです
- ・皆さんの前で自分の意見をまずいえる様になりたい
- ・相手を否定せず受容する
- ・まず自分のスキルアップと人間磨きしたい
- ・今後の取り組み・支援についてのアイデアを自由に出したい
- ・マインドマップ

Q2 研修全般で、気になった部分(迷ったり不快を感じたりした部分)を教えてください。

- ・人に伝えることのむずかしさを知った。言葉を返すことのむずかしさ、表現力がたりないと思い知らされ
- ・定時に終わってほしい
- ・ワークとして(例)を実践して欲しかった
- ・未知なる事(学ばなければならない)が多々ありリーダーの立場として努力を積まなければと痛感致しました。
- ・コーチングはとても難しいと思った。今まで自分の意見ばかり伝えてしまっていた。これからは、自分なりに努力して伝えて失敗しながら自己成長に努めたい。
- ・一人一人考える時間を与えてもらったのはいいが、いまいち(研修2.3)何を考え見いださなきゃいけないのかわからない事が多々ありました。(その度、隣の人や周りに尋ねました)
- ・時間の問題もあると思うが説明が早すぎてノートをとれなかった(AM)
- ・実際こうあるべき介護と分かっている、介護職員同士のフォローにも大変な状況です。職員全員の理解も必要かな?と思います。言葉使いの難しさを感じました。
- ・コーチングのまとめ、事例に対してコーチングスキルを使うとするとというところでうまく当てはめられず、わからないまま終わってしまった。(職場で確認します)
- ・後半部分でむずかしい言い回しが多く理解に苦しんだ。
- ・コーチングが難しかったです。
- ・コーチングの3大スキルの難しさ
- ・コーチング技術の時、意味が分からない部分があり迷いました。
- ・まだまだ知らないことが多くとても勉強になりました。
- ・グループワークが少なかった。他施設の方の意見をもっと聞きたかったのだ。

Q3 今後鹿児島県認知症GH連絡協議会の研修活動にどのようなことを期待しますか？

- ・今後も楽しく研修を受けられたらいいかと思えます。
- ・今後も今回の様な研修会を続けて欲しい。
- ・アセスメントのとり方
- ・リーダーとしてのコーチングスキルを指導してほしい。碓山さんの講話をもっと聞きたい。
- ・色々なテーマで研修会をしてほしい。
- ・今日みたいに途中で方言を入れてほしい。
- ・いろんな方に講師になっていただき、沢山の人が自分なりに理解できるよう(年齢層・経歴)にしてほしい。
- ・一つの課題に対して長い時間かけて講習をしていただけないか？
- ・これからも研修に参加したいと思えます。
- ・定期的に勉強していけたらと思いました。
- ・やはり年間を通じて研修を続けて欲しいです。大変ですけどよろしくお願いします。